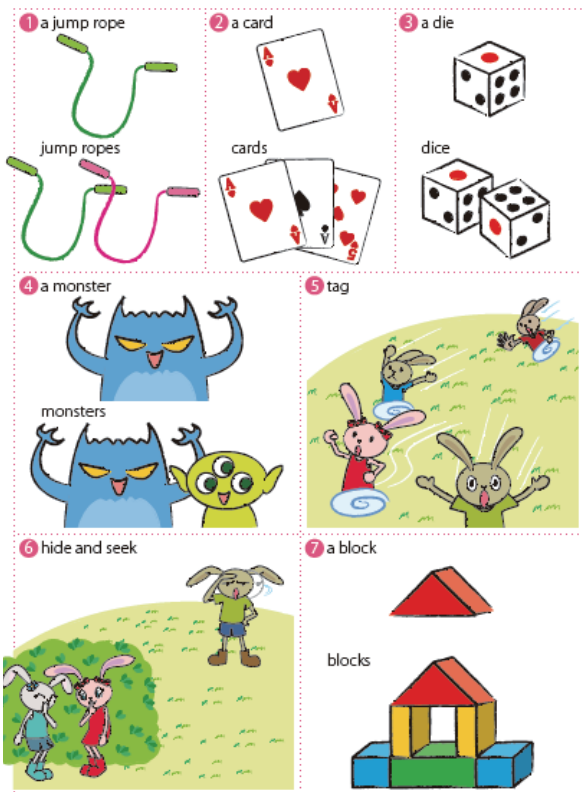


Unit 9

Let's Play

Words

ねらい 英語耳を作る事、単数、複数を理解する事、英語を英語のまま理解する事



Words

英語では単数形と複数形を分けて使います。レッスンではWhat's this? What are these?の形で子供達に質問します。What's this?に対しIt's a~, What are these?に対しThey are~. というレッスンを行う事により、自然に単数形と複数形について理解してもらいます。

親子で楽しく絵をポイントしながら、保護者様が「What's this?」「What are these?」とお聞きくださる事により、子供達の習熟度を確かめたい事が出来ます。コミュニケーションでは当然ですが、

日本語での質問 → 日本語で答える
英語での質問 → 英語で答える

というトレーニングを行います。

TPR トータルフィジカルレスポンス

身体の動きを通して「聞く＝注耳」の能力を発達させる方法です。

講師の“Sit down”などの指示通りに動く練習をします。このTPRによる訓練は

乳児や幼児の時期が特に効果的です。

同時に日本語と英語の大きな違いである「動詞の場所の違い」を体で理解する訓練にもなります。

日本の親が「最後までよく聞きなさい!」と叱る事に対し、英語圏の親は「最初にしっかりと聞きなさい!」と叱る事にも表れていますね。日本語を母語とする日本人は最後をしっかりと聞くので、英語の最初の大切な所が聞き取れないのです。アンのレッスンでは

最初の言葉を聞き取る訓練 をします。

TPR

ねらい 英語を英語で理解する事、動詞の位置を体で覚える事、英語耳を作る事

幼稚園での課内レッスンでは★の箇所を行っています。



- 1 Beat the monster. 怪物をやっつけなさい。
- 2 Jump. ジャンプしなさい。
- 3 Slide. 滑りなさい。
- 4 Hide. かくれなさい。

Tongue Twister

— 早口言葉、うまく言えるかな? —

Six slippery snakes slither sideways.

6匹のつかみにくいヘビが、横道にずるずる滑る。



- 5 Cast a die. サイコロをふりなさい。
- 6 Pile up the blocks. ブロックを積みなさい。
- 7 Find us. 私たちを見つけなさい。
- 8 Deal. カードを配りなさい。

Unit 9のレッスンは、遊びの場面です。

Words なわとび、トランプ遊び、サイコロ、鬼ごっこや、かくれんぼ。外国人の先生たちに遊んでもらうときに、さらっと言えるといいですね。

TPR 滑り台を滑るのは Slide、隠れるのは Hide、サイコロをふるのは Cast a die、カードを配るのは Deal。これも子供達にはなじみのない言葉ですね。おうちで遊ぶ際、ぜひ使ってみてください。

Tongue Twister 今回の早口言葉も、おもしろいですね。頑張って練習してください。

アンイングリッシュクラブでは、White クラスは3年間やっていただきます。(年少から入会の場合)。以前は年少クラス、年中クラス、年長クラスに分けることによって、レベル分けをしていましたが、昨今の子供たちはとても忙しく、振替を可能にして、クラスを同じにしました。考え方としては White クラスに3年間留学していただくようなイメージです。なぜか?皆さんがお話をされる際に、話し相手の子供の学年を意識して話しますか?ということ。ちなみに中学2年生で習う比較・・・今幼児のお子様に「あ～あの車はこちらの車より大きいね～」と話しかけていませんか?

中学2年までその会話はしないという方がいらっしゃるのでしょうか?日本人はこと「英語」のことになるとなぜかおかしな考えになるのです。言葉を学ぶためには、まず聞き取れること。語彙を増やすこと。語彙のパケツがいっぱいになってはじめて、言葉が出てきます。よくできる子(英語が大好きで毎日毎日CD、DVDを完璧に覚えている)で最低5年はかかります。日本語でも、5歳児ではじめてまともな会話ができるようになります。十分な基礎があってこそ、伸びるべくして伸びます。学問に王道なし。がんばって英語を自分のものにしましょう。